

文人画コレクション

尾張地域の

画人たち

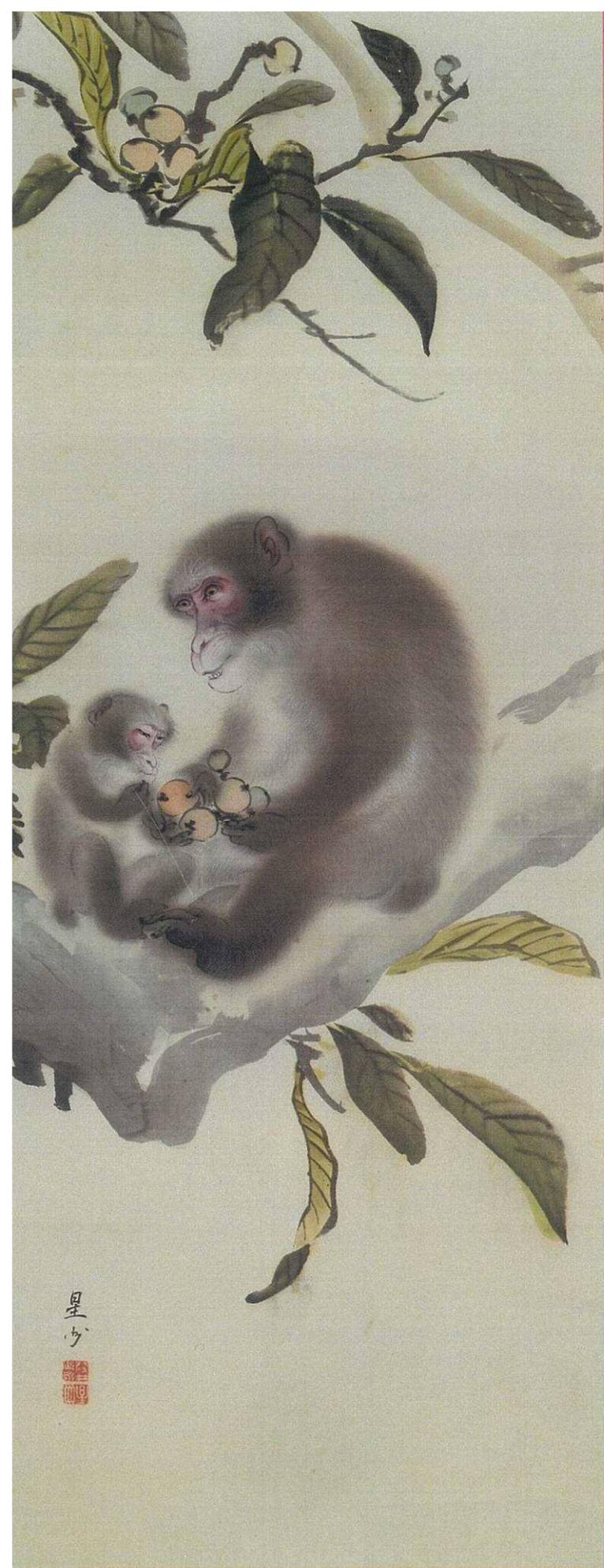
【開館時間】 午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休館日】 毎週月曜日（5月4日は開館）、4月30日（木）、5月7日（木）
【観覧料】 一般300円（240円）、高校・大学生150円（120円）、
〔常設展を含む〕
中学生以下無料

○（ ）内は20人以上の団体。
○一宮市内在住の満65歳以上で、住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方は無料。
○身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳（マイID可）を
持参の方（付添い人を含む）は無料。

2026年 3/20^金 — 5/10^日

浅井星洲「枇杷に二匹猿之図」

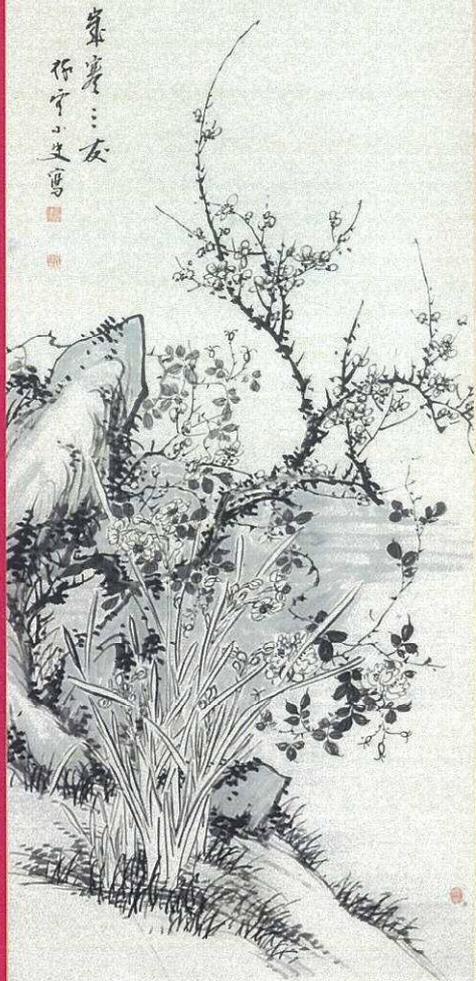
一宮市博物館
ICHINOMIYA CITY MUSEUM



文人画コレクション

尾張地域の

画人たち



梅水仙花図

吉田稼雲(1827~1875)

中島郡小信中島村の酒造業の家に生まれ、幕末に天誅組を率いて挙兵する藤本鉄石と交友しました。門人も多く、没後には顕彰碑も作られました。

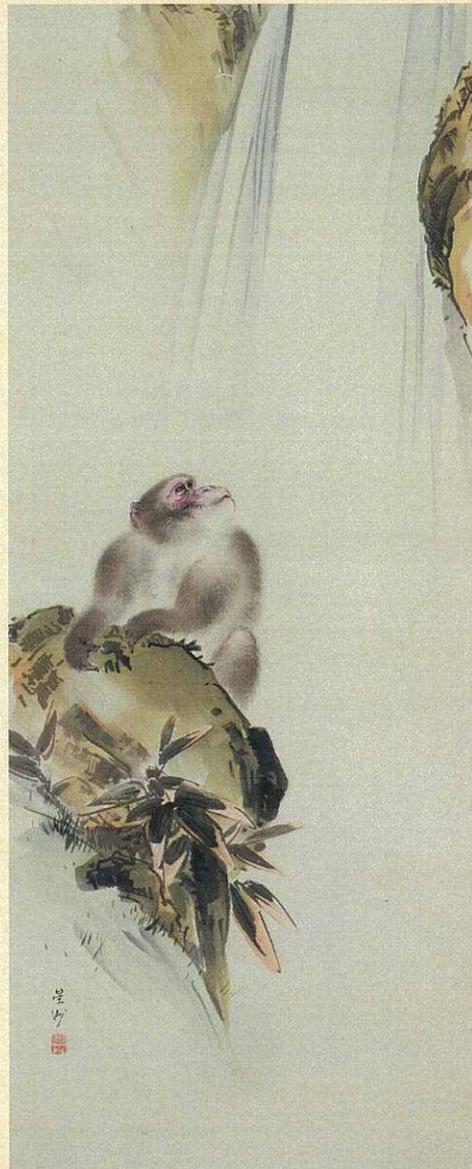


江戸時代は、長期間安定した社会が続いたことで、大都市だけでなく、地方の村々での文化活動も盛んになり、地域文化を支えた画人たちが全国で活躍しました。彼らは地域の文化人として、漢詩や書、思想を共有し、時に幕末の志士とも交わりながら、知のネットワークを築いていました。本展来会では、浅井星洲や吉田稼雲など、尾張西北部で活動していた画人の作品と交流関係を紹介します。

浅井星洲(1788~1862)

中島郡荆安賀村の庄屋に生まれ、京都で学びました。猿の絵を得意とし、その絵は「御留筆」(尾張藩主の許可がなければ、人の求めに応じて描けない)ともされます。

瀑布猿之図



学芸員による展示説明会

日時 4月19日(日) 午後1時30分~

定員 なし

参加費 無料(ただし、観覧料が必要)

申込 不要



一宮市博物館
ICHINOMIYA CITY MUSEUM

〒491-0922 一宮市大和町妙興寺2390
TEL. 0586-46-3215 <https://www.icm-jp.com>

- 名鉄名古屋本線「妙興寺」駅下車、南口より徒歩約7分
- JR東海道本線「尾張一宮」駅下車、タクシーで約10分
- ニコニコふれあいバス「博物館西」下車、徒歩約5分

公式サイト



@ichinomiya_city_museum X @138citymuseum f ichinomiya.city.museum @138museum

